

社会・地理歴史・公民 に関する関連資料

社会科、地理歴史科、公民科の内容項目一覧

小学校

第3学年

- (1) 身近な地域や市区町村の様子
- (2) 地位に見られる生産や販売の仕事
- (3) 地域の安全を守る働き
- (4) 市の様子の変り変わり

第4学年

- (1) 都道府県の様子
- (2) 人々の健康や生活環境を支える事業
- (3) 自然災害から人々を守る活動
- (4) 県内の伝統や文化、先人の働き
- (5) 県内の特色ある地域の様子

第5学年

- (1) 我が国の国土の様子と国民生活
- (2) 我が国の農業や水産業における食料生産
- (3) 我が国の工業生産
- (4) 我が国の産業と情報の関わり
- (5) 我が国の国土の自然環境と国民生活との関連

第6学年

- (1) 我が国の政治の働き
- (2) 我が国の歴史上の主な事象
- (3) グローバル化する世界と日本の役割

中学校

地理的分野

A 世界と日本の地域構成

- (1) 地域構成

B 世界の様々な地域

- (1) 世界各地の人々の生活と環境
- (2) 世界の諸地域

C 日本の様々な地域

- (1) 地域調査の手法
- (2) 日本の地域的特色と地域区分
- (3) 日本の諸地域
- (4) 地域の在り方

歴史的分野

A 歴史との対話

- (1) 私たちと歴史
- (2) 身近な地域の歴史

B 近世までの日本とアジア

- (1) 古代までの日本
- (2) 中世の日本
- (3) 近世の日本

C 近現代の日本と世界

- (1) 近代の日本と世界
- (2) 現代の日本と世界

公民的分野

A 私たちと現代社会

- (1) 私たちが生きる現代社会と文化の特色
- (2) 現代社会を捉える枠組み

B 私たちと経済

- (1) 市場の働きと経済
- (2) 国民の生活と政府の役割

C 私たちと政治

- (1) 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則
- (2) 民主政治と政治参加

D 私たちと国際社会の諸課題

- (1) 世界平和と人類の福祉の増大
- (2) よりよい社会を目指して

高等学校

地理総合

A 地図や地理情報システムで捉える現代世界

- (1) 地図や地理情報システムと現代世界

B 国際理解と国際協力

- (1) 生活文化の多様性と国際理解
- (2) 地球的課題と国際協力

C 持続可能な地域づくりと私たち

- (1) 自然環境と防災
- (2) 生活圏の調査と地域の展望

地理探究

A 現代世界の系統地理的考察

- (1) 自然環境
- (2) 資源、産業
- (3) 交通・通信、観光
- (4) 人口、都市・村落
- (5) 生活文化、民族・宗教

B 現代世界の地誌的考察

- (1) 現代世界の地域区分
- (2) 現代世界の諸地域

C 現代世界におけるこれからの日本の国土像

- (1) 持続可能な国土像の探究

歴史総合

A 歴史の扉

- (1) 歴史と私たち
- (2) 歴史の特質と資料

B 近代化と私たち

- (1) 近代化への問い
- (2) 結び付く世界と日本の開国
- (3) 国民国家と明治維新
- (4) 近代化と現代的な諸課題

C 国際秩序の変化や大衆化と私たち

- (1) 国際秩序の変化や大衆化への問い
- (2) 第一次世界大戦と大衆社会
- (3) 経済危機と第二次世界大戦

D グローバル化と私たち

- (1) グローバル化への問い
- (2) 冷戦と世界経済
- (3) 世界秩序の変容と日本
- (4) 現代的な諸課題の形成と展望

高等学校

日本史探究

A 原始・古代の日本と東アジア

- (1) 黎明期の日本列島と歴史的環境
- (2) 歴史資料と原始・古代の展望
- (3) 古代の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈, 説明, 論述）

B 中世の日本と世界

- (1) 中世への転換と歴史的環境
- (2) 歴史資料と中世の展望
- (3) 中世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈, 説明, 論述）

C 近世の日本と世界

- (1) 近世への転換と歴史的環境
- (2) 歴史資料と近世の展望
- (3) 近世の国家・社会の展開と画期（歴史の解釈, 説明, 論述）

D 近現代の地域・日本と世界

- (1) 近代への転換と歴史的環境
- (2) 歴史資料と近代の展望
- (3) 近現代の地域・日本と世界の画期と構造
- (4) 現代の日本の課題の探究

世界史探究

A 世界史へのまなざし

- (1) 地球環境から見る人類の歴史
- (2) 日常生活から見る世界の歴史

B 諸地域の歴史的特質の形成

- (1) 諸地域の歴史的特質への問い
- (2) 古代文明の歴史的特質
- (3) 諸地域の歴史的特質

C 諸地域の交流・再編

- (1) 諸地域の交流・再編への問い
- (2) 結び付くユーラシアと諸地域
- (3) アジア諸地域とヨーロッパの再編

D 諸地域の結合・変容

- (1) 諸地域の結合・変容への問い
- (2) 世界市場の形成と諸地域の結合
- (3) 帝国主義とナショナリズムの高揚
- (4) 第二次世界大戦と諸地域の変容

E 地球世界の課題

- (1) 国際機構の形成と平和への模索
- (2) 経済のグローバル化と格差の是正
- (3) 科学技術の高度化と知識基盤社会
- (4) 地球世界の課題の探究

社会科、地理歴史科、公民科の内容項目一覧

高等学校

公共

A 公共の扉

- (1) 公共的な空間を作る私たち
- (2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方
- (3) 公共的な空間における基本的原理

B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち

C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち

倫理

A 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方

- (1) 人間としての在り方生き方の自覚
- (2) 国際社会に生きる日本人としての自覚

B 現代の諸課題と倫理

- (1) 自然や科学技術に関わる諸課題と倫理
- (2) 社会と文化に関わる諸課題と倫理

政治・経済

A 現代日本における政治・経済の諸課題

- (1) 現代日本の政治・経済
- (2) 現代日本における政治・経済の諸課題の探究

B グローバル化する国際社会の諸課題

- (1) 現代の国際政治・経済
- (2) グローバル化する国際社会の諸課題の探究

小学校社会 目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境，現代社会の仕組みや働き，地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに，様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力，考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について，よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに，多角的な思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚，我が国の国土と歴史に対する愛情，我が国の将来を担う国民としての自覚，世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

社会科、地理歴史科、公民科の目標

各学年の目標

第3学年

- 社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。
- (1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
 - (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

第4学年

- 社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。
- (1) 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
 - (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

第5学年

- 社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。
- (1) 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 - (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

第6学年

- 社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。
- (1) 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - (2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 - (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切にして国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについての自覚を養う。

社会科、地理歴史科、公民科の目標

中学校社会 目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

各分野の目標

地理的分野

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

歴史的分野

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

公民的分野

現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

社会科、地理歴史科、公民科の目標

高等学校 地理歴史 目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

社会科、地理歴史科、公民科の目標

各科目の目標

地理総合	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
地理探究	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
歴史総合	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
日本史探究	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
世界史探究	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

社会科、地理歴史科、公民科の目標

高等学校 公民 目標

社会的な見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

各科目の目標

公民	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
倫理	人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。 (3) 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。
政治経済	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 (3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。



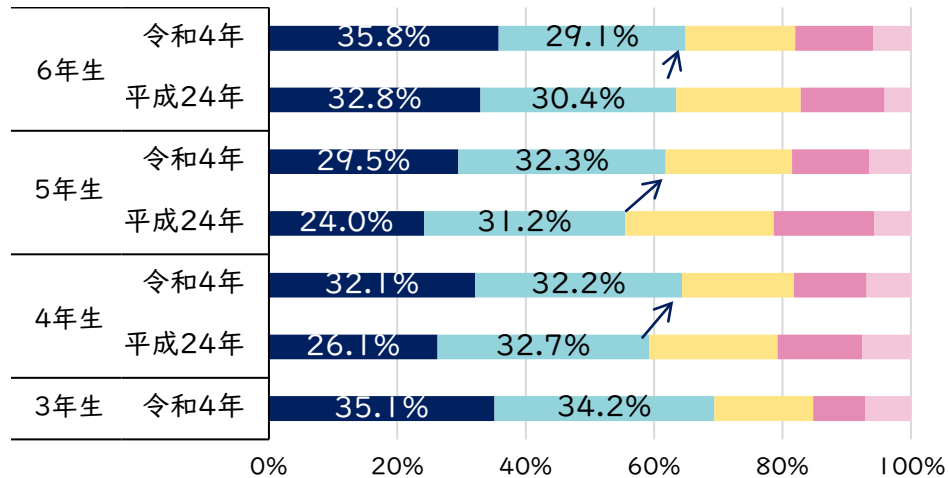
参考資料・データ

社会科等の学習が好きな割合

◆ 社会科の学習が好きな児童生徒は小中学校を中心として増加している

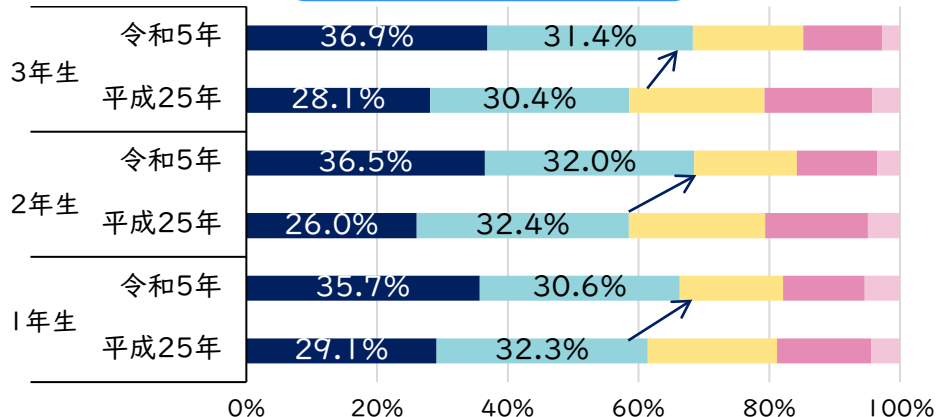
小学校

社会科の学習が好きだ



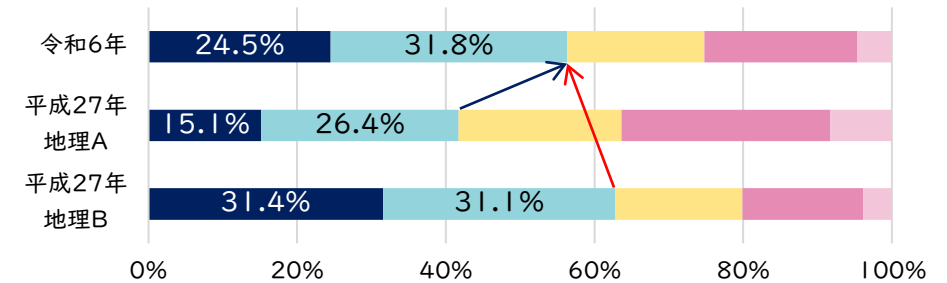
中学校

社会科の学習が好きだ

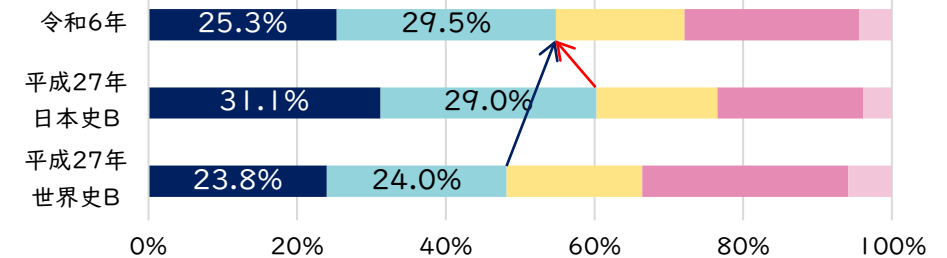


高等学校

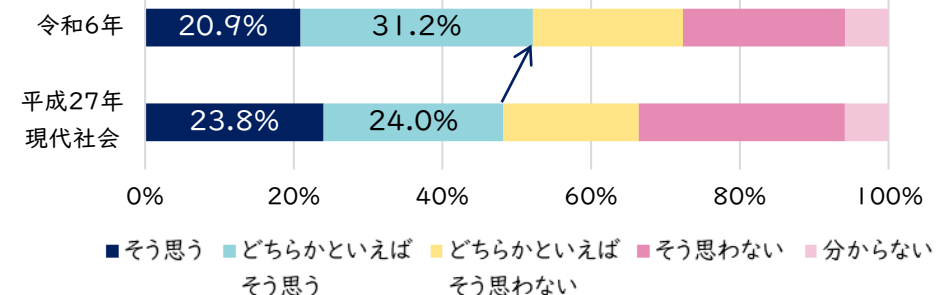
地理総合 (H27地理A,B) の学習が好きだ



歴史総合 (H27日本史B,世界史B) の学習が好きだ



公共 (H27現代社会) の学習が好きだ

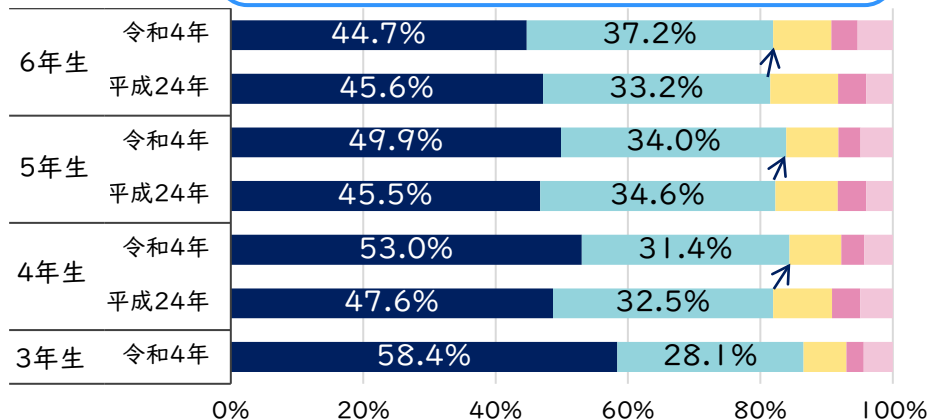


社会科等の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ

◆ 社会・地理歴史・公民を学習すれば、生活や社会の役に立つと思う児童生徒は増加傾向にある

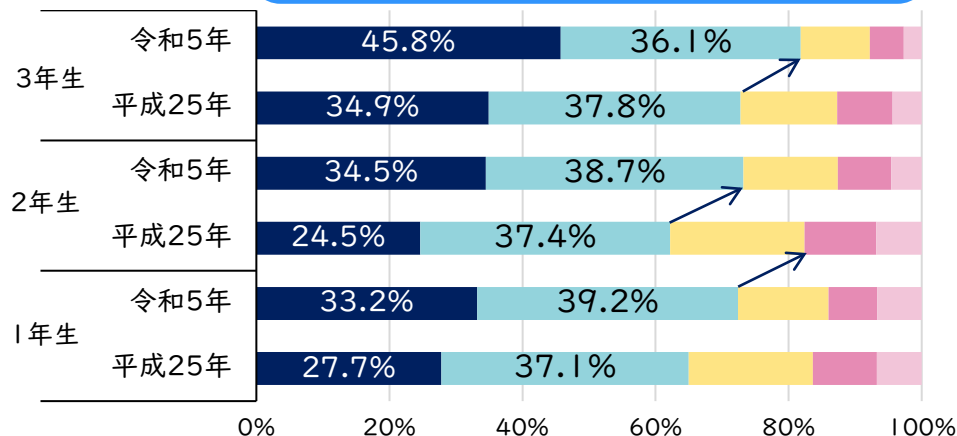
小学校

社会科の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ



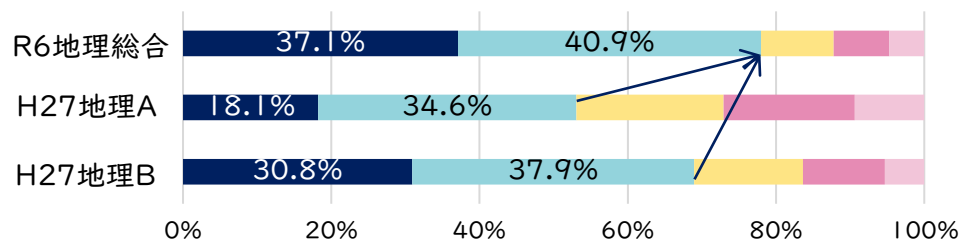
中学校

社会科の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ

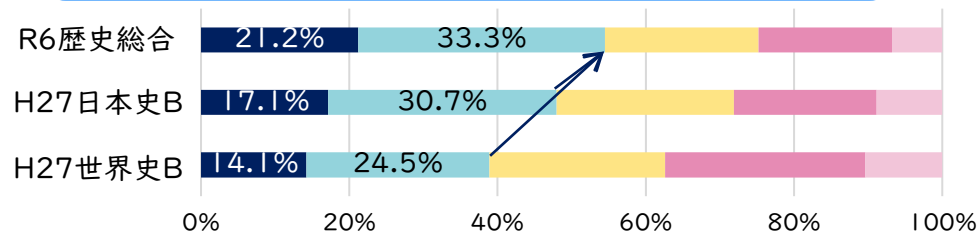


高等学校

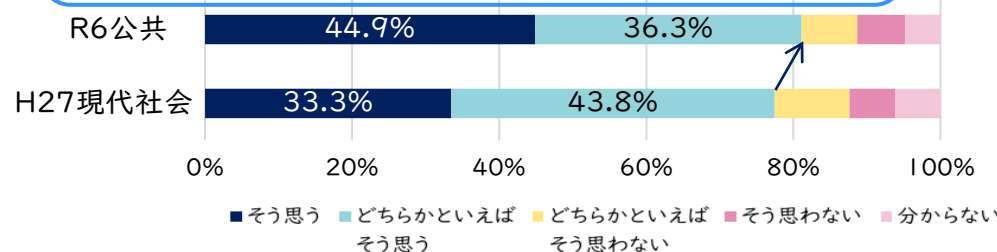
地理総合(H27地理A,B)の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ



歴史総合(H27日本史B,世界史B)の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ



公共(H27現代社会)の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ

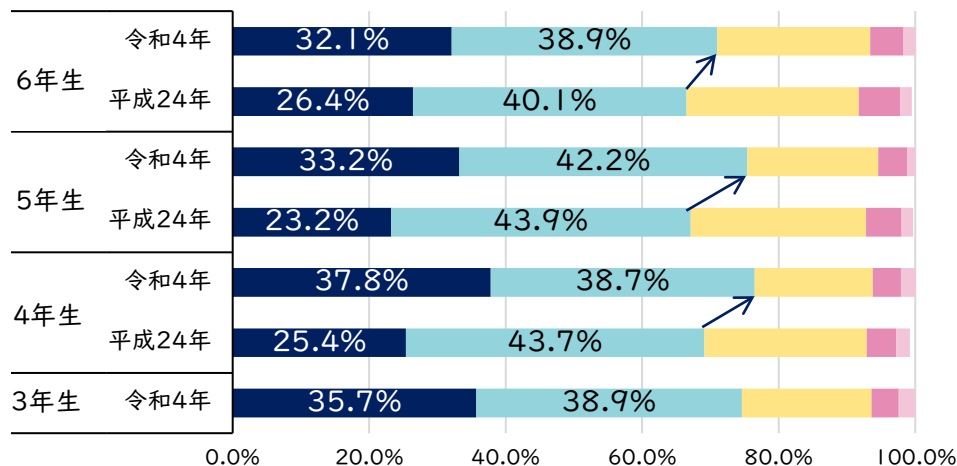


社会科等の授業がどの程度分かりますか

◆ わかりやすいと感じる授業が増加

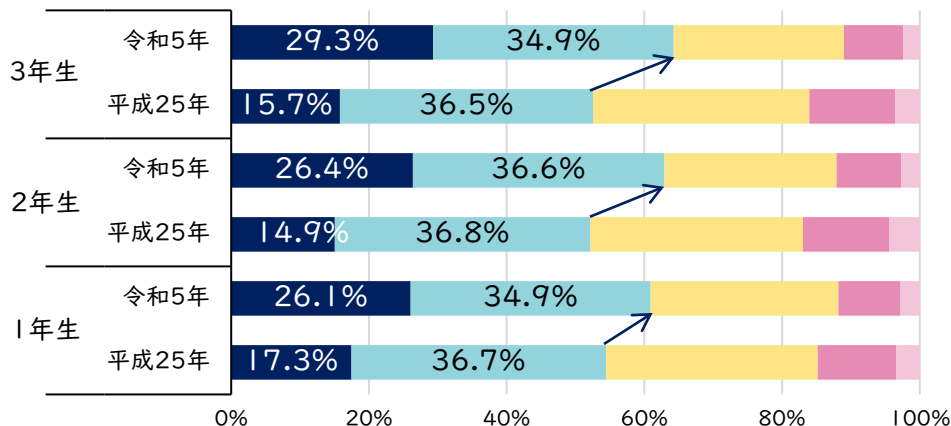
小学校

社会科の授業がどの程度分かりますか



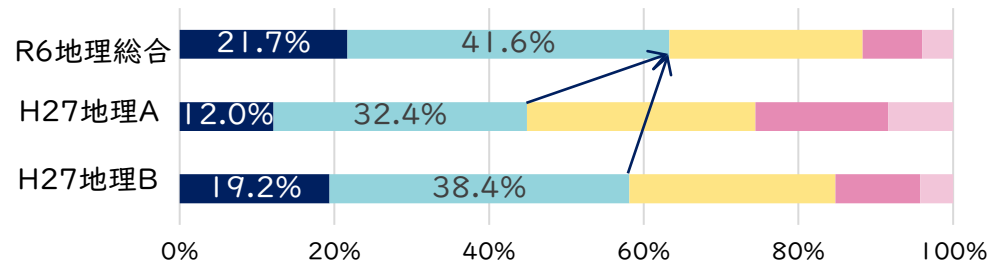
中学校

社会科の授業がどの程度分かりますか

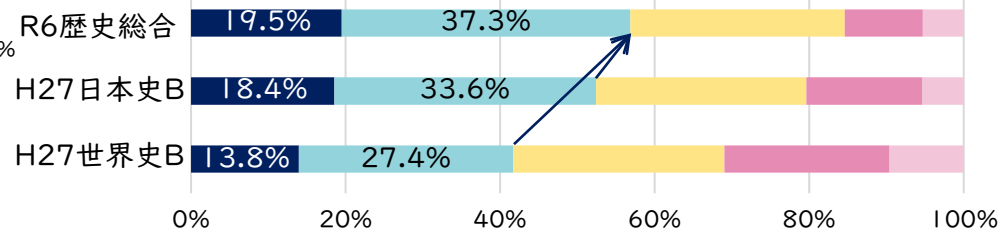


高等学校

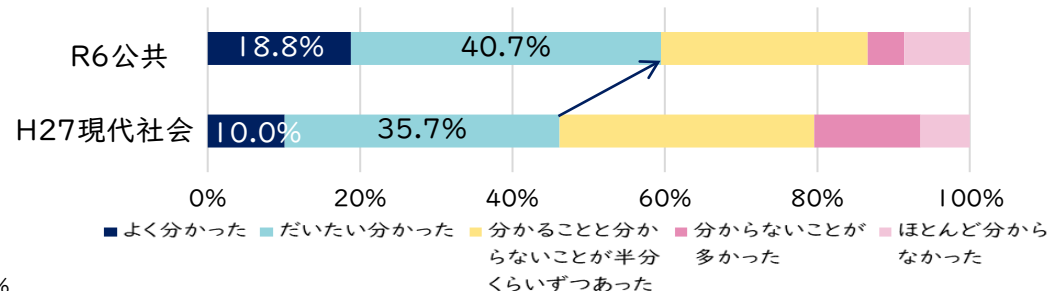
地理総合（H27地理A,B）の授業がどの程度分かりますか



歴史総合（H27日本史B,世界史B）の授業がどの程度分かりますか



公共（H27現代社会）の授業がどの程度分かりますか



（出典）学習指導要領実施状況調査より（暫定値）

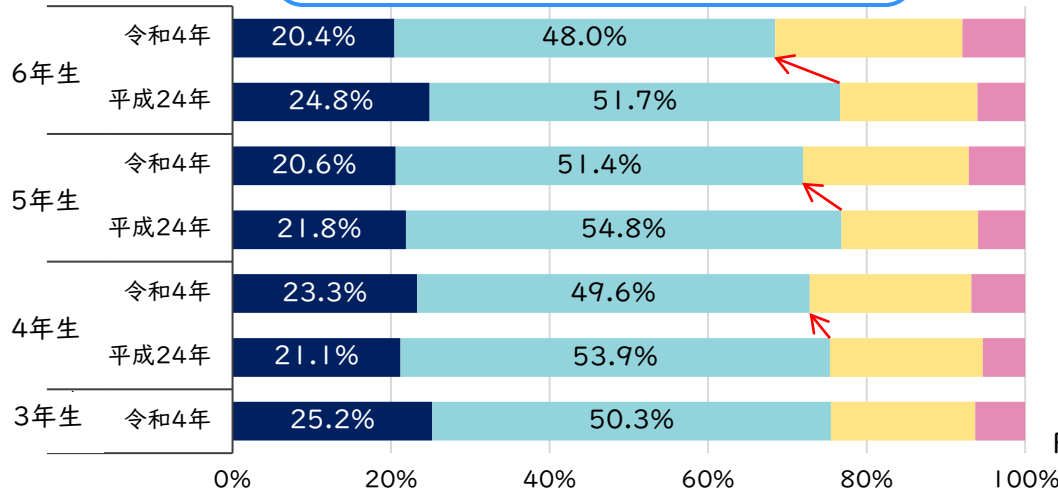
※調査方法や設問等については、前回調査と異なる場合があることに留意する必要がある。

社会科等を学習して、よりよい社会の在り方を考えたいと思うようになった

◆ 社会の一員としてのよりよい社会づくりの意識に課題

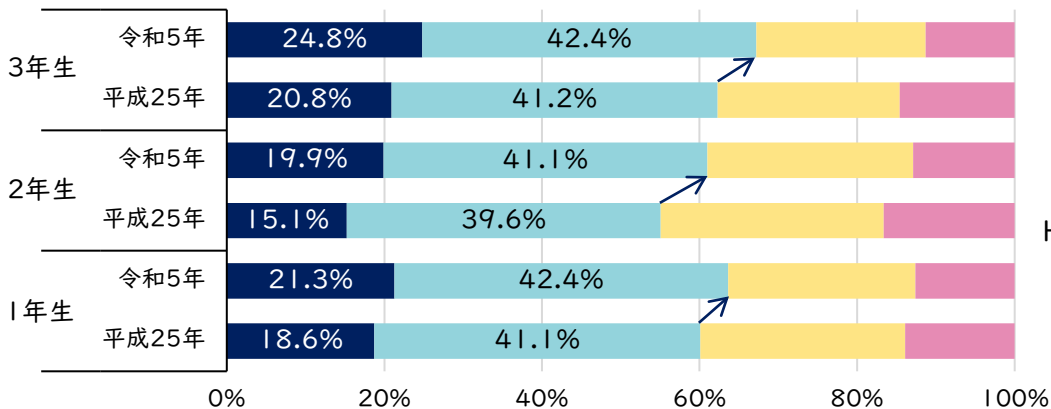
小学校

社会科の学習をもとにして、これからのよりよい社会について考えることができますか



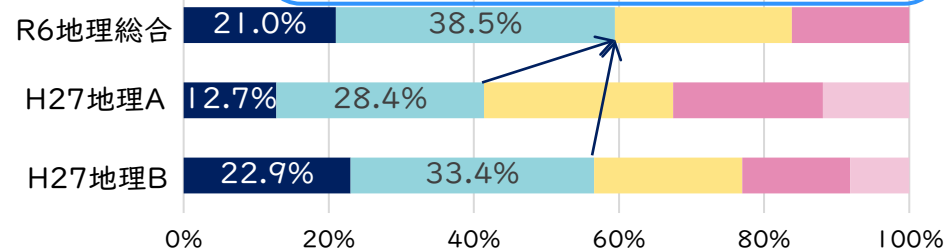
中学校

社会の一員としてよりよい社会を考えることができるよう、社会科を勉強したいと思うようになりましたか

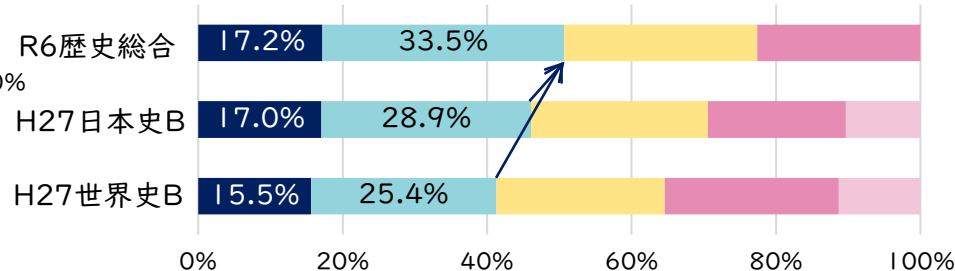


高等学校

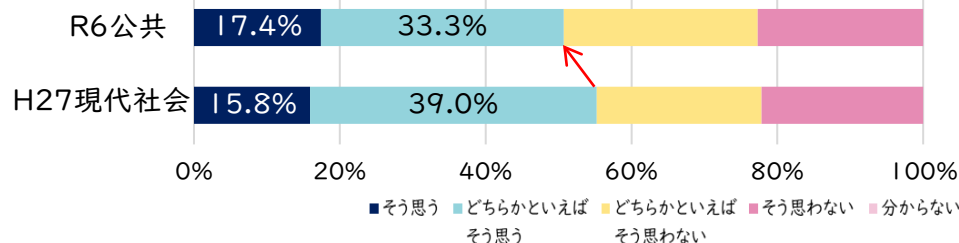
地理総合(H27地理A,B)を学習して、社会の一員としてよりよい社会を考えることができるよう、社会科を勉強したいと思うようになりましたか



歴史総合(H27日本史B,世界史B)を学習して、社会の一員としてよりよい社会を考えることができるよう、歴史総合を勉強したいと思うようになりましたか



公共(H27現代社会)を学習して、社会の一員としてよりよい社会を考えることができるよう、公共を勉強したいと思うようになりましたか

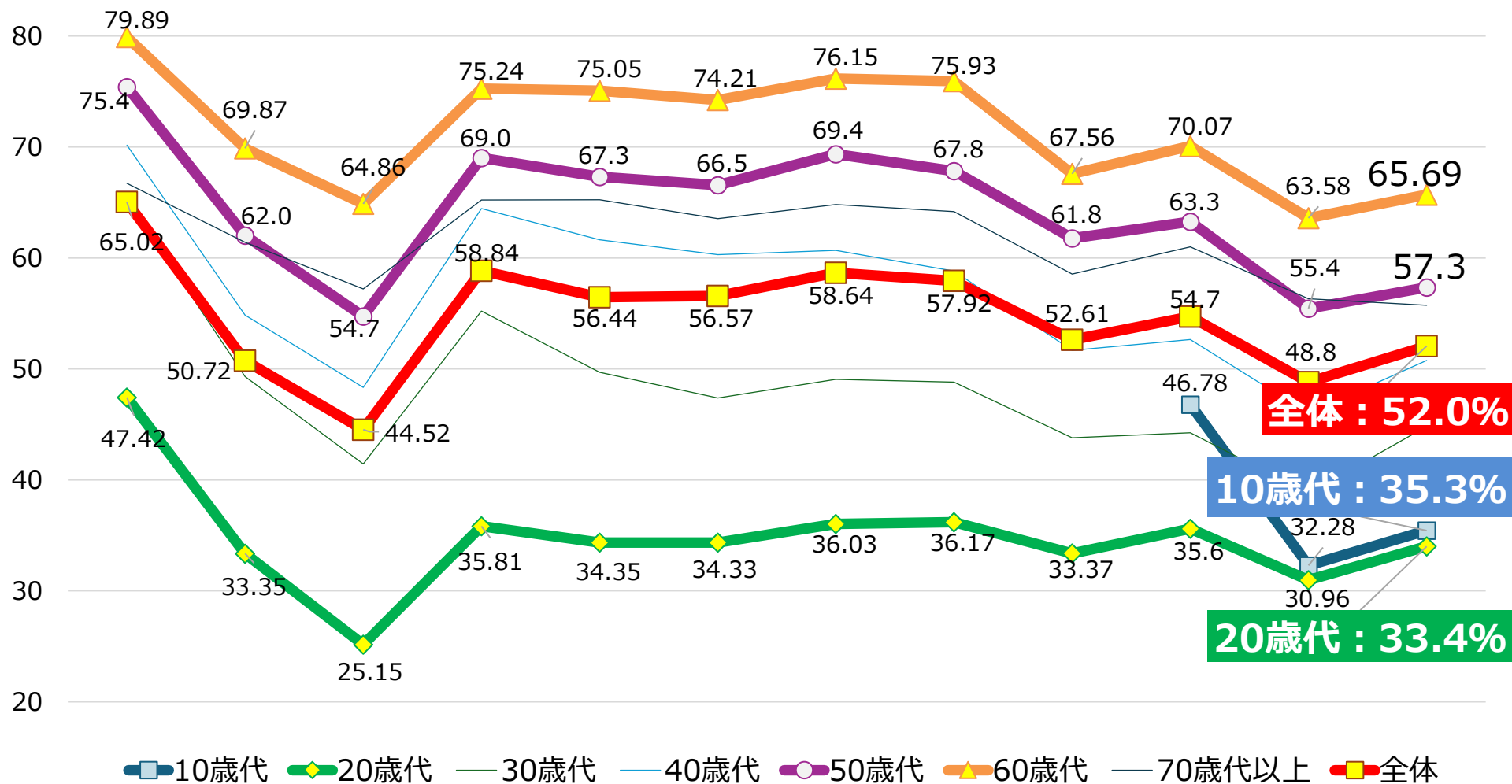


(出典) 学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

※同一の質問ではなく、同趣旨の質問等で比較している場合があることに留意する必要がある。

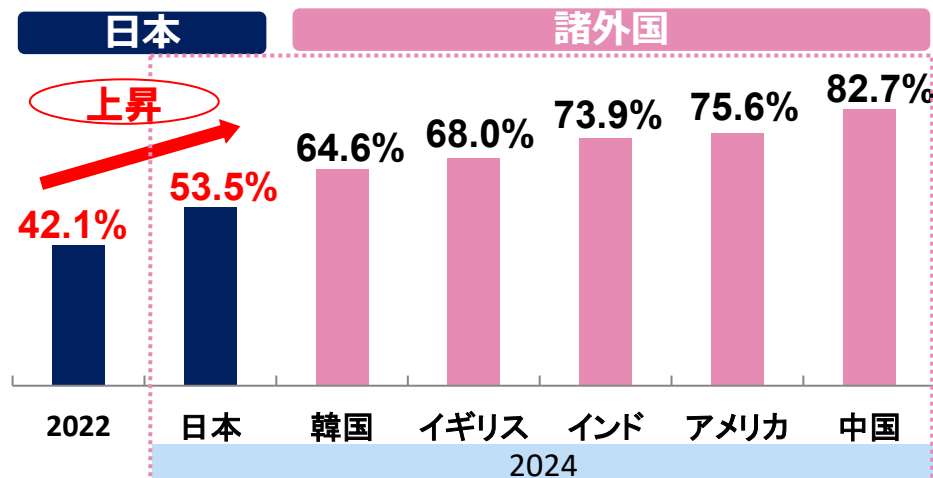
参議院議員通常選挙における年代別投票率（抽出）の推移について

◆ 若者の投票率は、約 3 割程度と他の世代と比べて低い

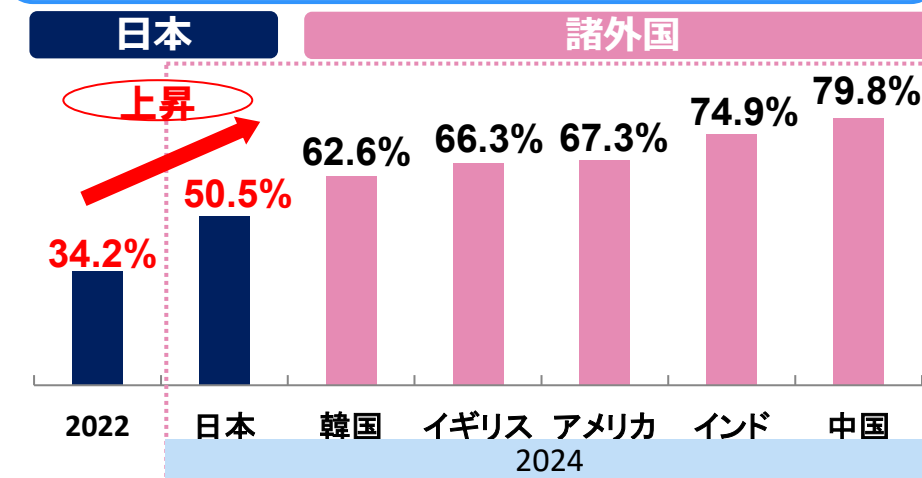


◆ 18歳の当事者意識は、上昇傾向にあるが、諸外国と比較して低水準である

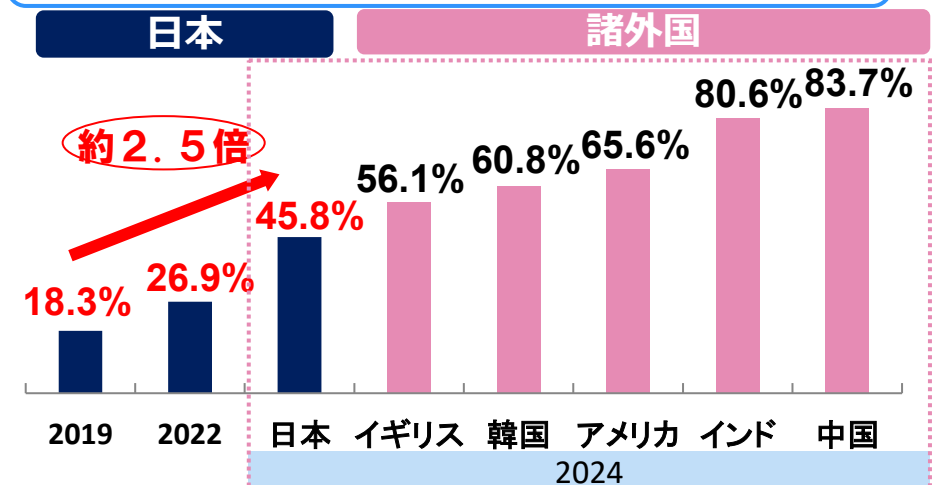
①政治や選挙、社会問題について、自分の考えを持っている



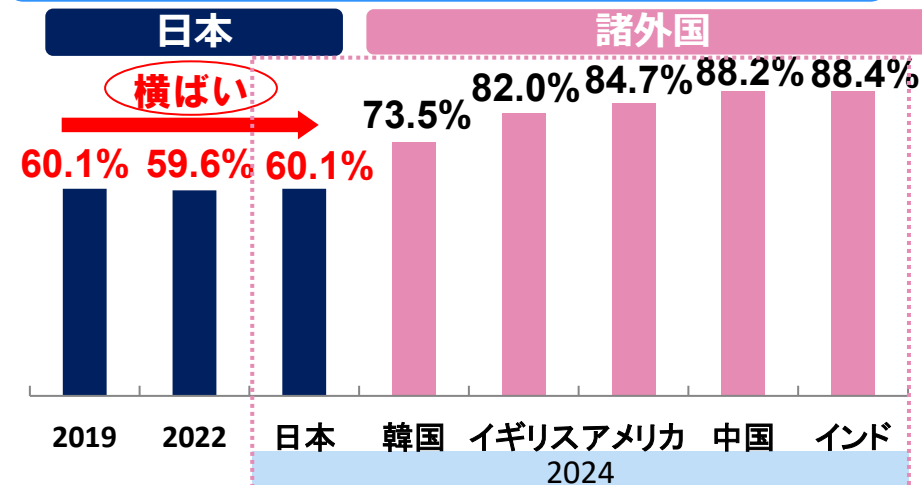
②政治や選挙、社会問題について家族や友人と議論することがある



③自分の行動で国や社会を変えられると思う



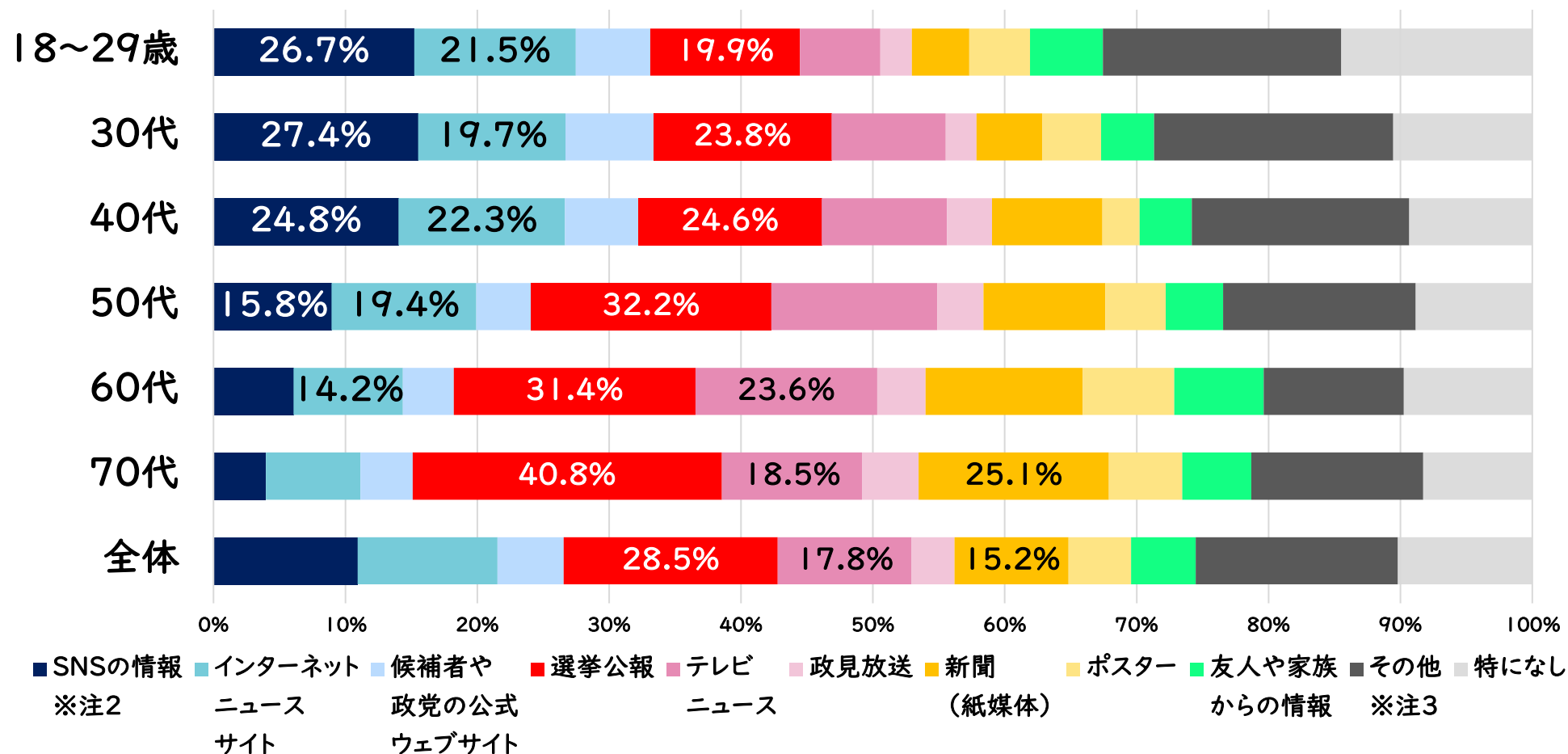
④将来の夢を持っている



選挙における投票行動に影響した情報媒体について

◆ 若い世代は投票行動に影響を与えた情報媒体として「SNSの情報」をあげている

あなたの投票行動に影響した情報媒体について教えてください。(2025年6月都議会議員選挙)

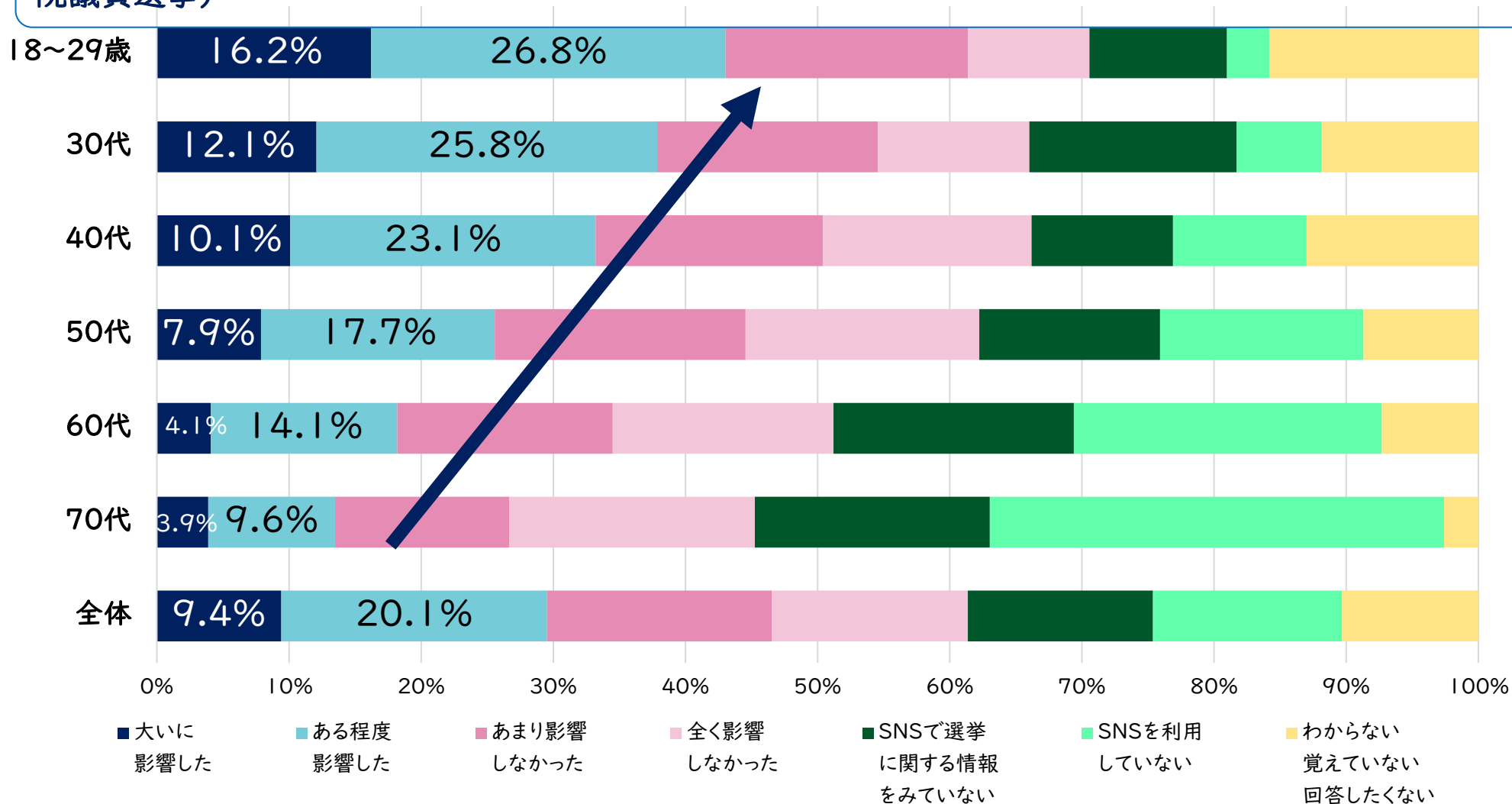


出典：(株)日本総合研究所未来価値研究所政治人材バンクプロジェクトが2025年8月19日に公表した「【都議会議員選挙・参議院選挙2025】有権者アンケート調査結果
東京都議会議員選挙（2025年6月22日投開票）、参議院議員通常選挙（2025年7月20日投開票）への選挙権を有した東京都に在住する18歳～79歳までの男女3,000人を対象
注1：投票行動に影響した情報媒体については、回答者は最大3つまで複数回答している場合がある。
注2：「SNSの情報※注3」については、「候補者のSNS(X、Instagramなど)」と「候補者発信以外のSNSの情報」を含めたもの
注3：「その他」については、「ポスティングのチラシ」「候補者マッチングサイト」「街頭演説」「選挙カーでの演説」「候補者・政党による討論会」「その他」を含めたもの

SNSで見た情報の投票行動や投票先の決定への影響

◆ 若い世代ほどSNSの情報が投票先に影響を与えたと回答している

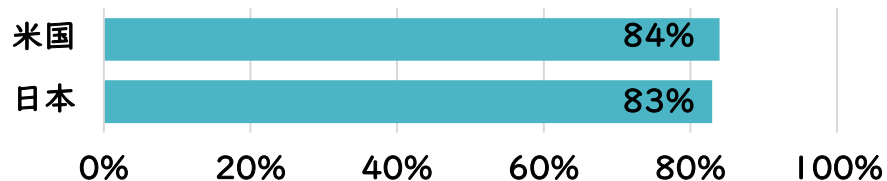
SNS (X、Instagramなど) で見た情報は投票行動や投票先の決定に影響を与えましたか (2025年7月参議院議員選挙)



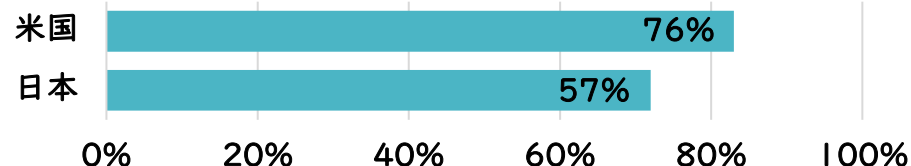
フェイク情報への懸念と生成AIの影響についてのグローバル調査

◆ 日本、米国ともに、多くの人がオンラインコンテンツについて改ざんや誤情報になることに懸念をいだいていたり、有害なディープフェイクが選挙に影響を与えたりと考えている

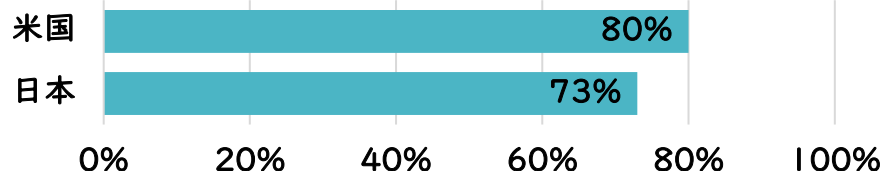
「オンラインで接するコンテンツが改ざんされやすく誤情報になることに懸念を表明」と回答した割合



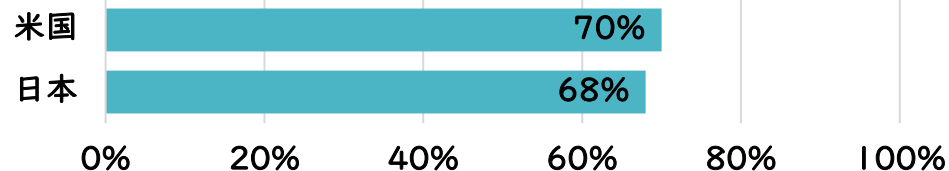
「政府とテクノロジー企業が協力して、ディープフェイクや誤情報から選挙の公正性を守るべき」と回答した割合



「誤情報や有害なディープフェイクが選挙に影響を与えると信じている」と回答した割合



「オンラインで接するコンテンツが信頼できるかどうかを確認することが難しくなっている」と回答した割合



出典: Adobe

2024年6月25日に公表した調査。米国、日本、欧州を含む世界6,000人以上の消費者を対象に、インターネット上でフェイク情報に遭遇した経験や、生成AIがもたらす影響への懸念などについて、グローバル調査を実施

※米国2,012人、日本1,023人、英国2,002人、フランス1,043人、ドイツ1,020人の18歳以上の回答者を対象に調査

子どもたちを取り巻くデジタル環境について

◆ デジタル時代の主権者教育の観点が大切である

① 子どもたちは常時ネット接続

● ネット利用時間の1日平均 (※1)

小学生	中学生	高校生
約3h44m	約5h02m	約6h19m

● 子供専用のスマホ保有率 (※2 2024)

小学生	中学生	高校生
72.0%	95.3%	99.1%

② 多様な情報から遮断されるリスク

● 検索結果・SNS、表示情報のパーソナライズ

✓ 日本は「知っている」：44.7% 他国は80%～90%

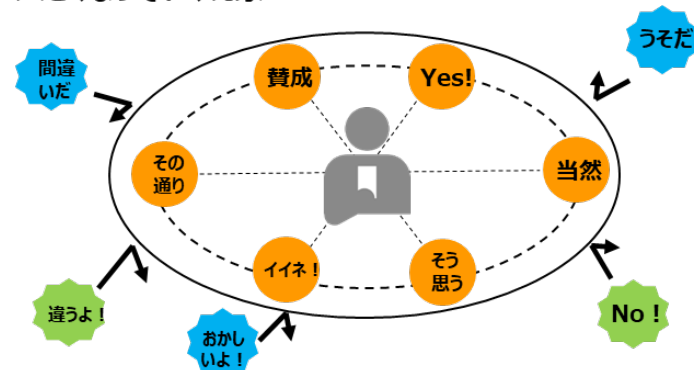
フィルターバブル現象

自分の好む情報「だけ」に囲まれ、
多様な意見から隔離されやすくなる現象。



エコーチェンバー現象

同じような意見が、閉ざされた空間の中で反響して
大きくなっていく現象



【出所①】

※1 内閣府 令和6年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果。ネットを利用すると回答した青少年の平均利用時間は、前年と比べ約5分増加し、約5時間2分。目的ごとの平均利用時間は趣味・娯楽が最も多く、約3時間01分

※2 ※1をもとに内閣府で作成。平成26年度より調査方法等を変更したため、平成25年度以前の調査結果を直接比較ができないことに留意。「小学生」の調査対象は、満10歳以上

【出所②】

令和4年度総務省「ICT 基盤の高度化とデジタルデータ及び情報の流通に関する調査研究の請負」報告書「検索結果やSNS、動画、音楽等、表示される情報があなたに最適化(パーソナライズ)されていることに対する認識」

オンライン情報の信頼性の確認方法についての国際比較

◆ オンライン情報の信頼性を確認する割合が他国と比べ圧倒的に低い

① 情報の発信源を確認 **19%**

(米34%、中35%、独27%)

その他の方法で真偽を確認 **11%**

(米33%、中28%、独23%)

② SNSや動画で他の意見や反応を調べる **21%**

(米31%、中39%、独26%)

⑤ 専門家やファクトチェック機関による検証結果を確認 **10%**

(米32%、中36%、独23%)

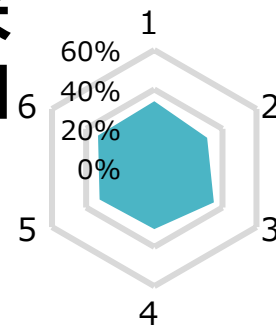
③ 複数のニュース媒体による報道を比較 **19%**

(米35%、中38%、独34%)

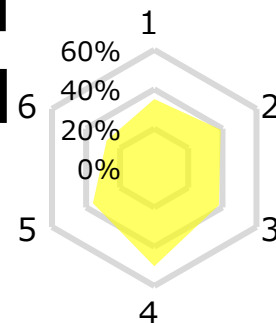
④ 政府等が公表する情報を確認 **17%**

(米31%、中50%、独28%)

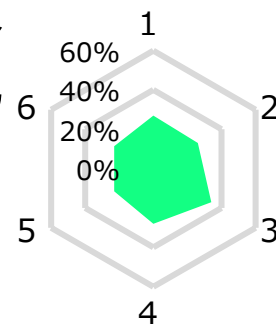
米国



中国



ドイツ



【出典】「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及び デジタル活用の動向に関する調査研究の請負成果報告書」(2025(令和 7)年 3 月 総務省情報流通行政局情報通信政策課情報通信経済室)

※アンケート対象:各対象国の居住者及び、20 代から 60 代の男女を対象 日本N=1030 米国、中国、ドイツ N=520

※オンライン情報の信頼性の確認方法:「あなたはオンライン上で最新のニュースを知りたい時に、どのように情報の信頼性を確かめますか」の問いに「ほぼ全てのニュースについて行う」あるいは「よく行う」と回答した割合

◆ 特に中学校における地域調査の実施率が低い

小学校（教師）

観察や調査・見学、体験を取り入れた授業を行っていますか

※小学校学習指導要領では、「地域の実態を生かし、（略）観察や見学、聞き取りなどの調査活動を含む具体的な体験を伴う学習（略）の一層の充実を図ること」とされている。

	そうしている・どちらかといえばそうしているの割合	
学年	H24	R4
第3学年	-	94.8
第4学年	88.8	82.5
第5学年	62.2	69.1
第6学年	54.4	61.2

中学校（教師）

地理的分野において、フィールドワークや聞き取り調査などを取り入れて指導を行っていますか。

※中学校学習指導要領では、「地域調査に当たっては、（略）観察や調査を指導計画に位置付けて実施すること」とされている。

	行なっている・どちらかといえば行っているの割合	
学年	H25	R5
第1学年	7.6	12.4
第2学年	10.3	10.3

高等学校（教師）

地域調査の学習の際に、フィールドワークや聞き取り調査などの野外調査を取り入れて指導を行っていますか。

※高等学校学習指導要領では、「地域調査を実施し、生徒が適切にその方法を身に付けるよう工夫すること」とされている。

	そうしている・わりとそうであるの割合	
科目	H27	R6
地理A	4.1	-
地理B	8.2	-
地理総合	-	19.6

（出典）学習指導要領実施状況調査より（小：確定値、中・高：暫定値）

※設問文等については、前回調査と必ずしも文言が一致しないことに留意する必要がある。

※肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算をするため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

◆ 歴史総合等の授業で学校内外の施設を活用している割合は3割未満に止まっている

学校内外の施設（図書館、博物館、郷土資料館等）の活用

高等学校学習指導要領実施状況調査 教師用質問調査（暫定値）
「観察や調査・見学など体験を取り入れた授業を行っている。」

➡「そうしている」「どちらかといえばそうしている」の合計 **26.2%**

「博物館や郷土資料館の活用など、地域の素材や人材を活用した授業を行っている。」

➡「そうしている」「どちらかといえばそうしている」の合計 **27.8%**

高等学校学習指導要領実施状況調査 生徒用質問調査（暫定値）
「「歴史総合」の学習で、学校の図書館などを活用している」

➡「そうしている」「どちらかといえばそうしている」の合計 **25.9%**

「「歴史総合」の学習で、博物館や郷土資料館などを活用している」

➡「そうしている」「どちらかといえばそうしている」の合計 **25.4%**

デジタルアーカイブの活用例



・デジタルアーカイブの資料を操作して観察し、友達と交流しながら、資料から当時の変化を読み取る活動。



[横浜開港資料館デジタル
アーカイブ](#)



[神奈川県立歴史博物館
デジタルアーカイブ](#)

（歴史の学習を）学校の授業のみで終わらせずに空間的には教室の外へ、時間的には卒業後まで継続させ、将来にわたって学び続ける機会や方法についての認識や姿勢を育み、生涯学習へと発展させていくことが大切である。

（高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 地理歴史編、p.189、266、348）